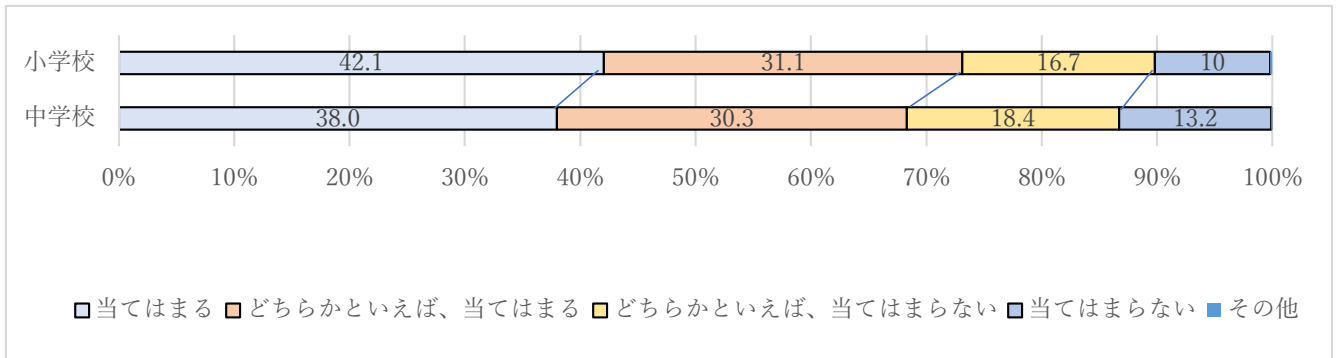


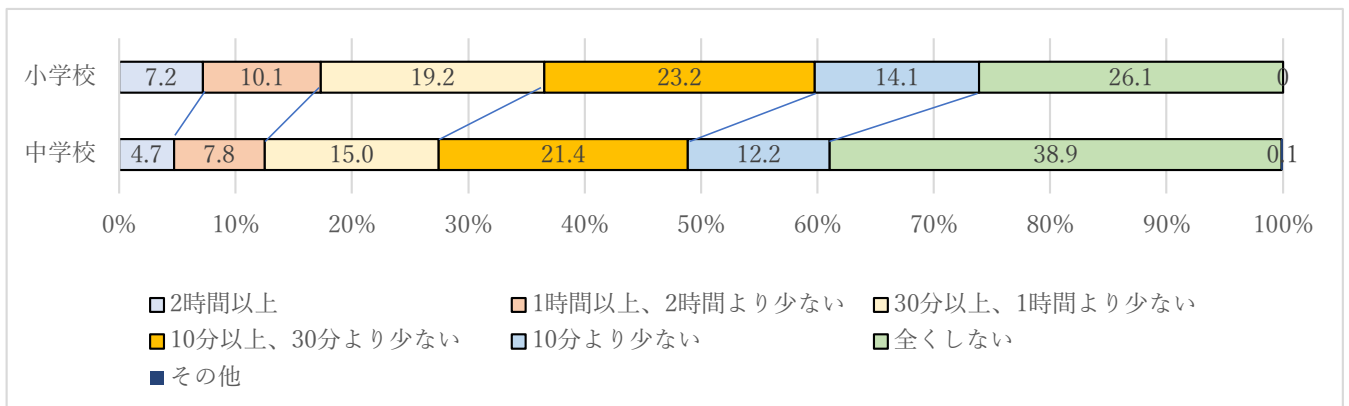
1 令和4年度全国学力学習状況調査結果

(1) 読書は好きですか。

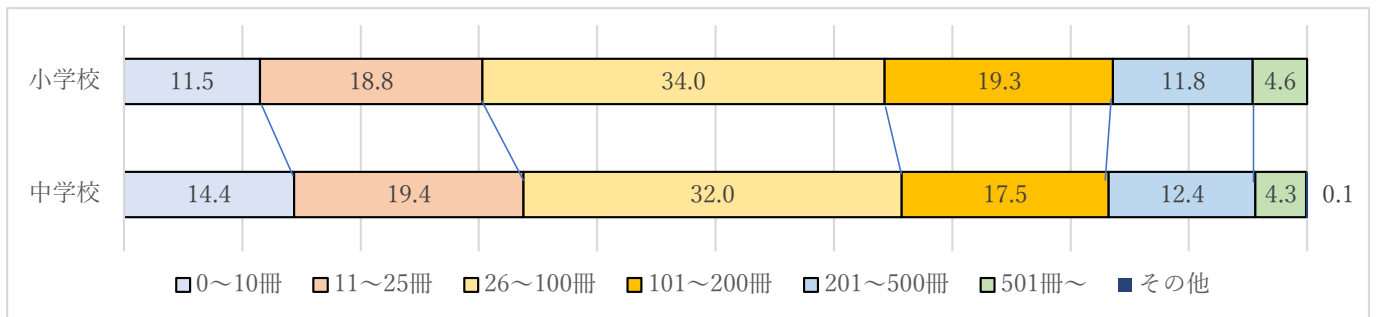


(2) 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか。（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）

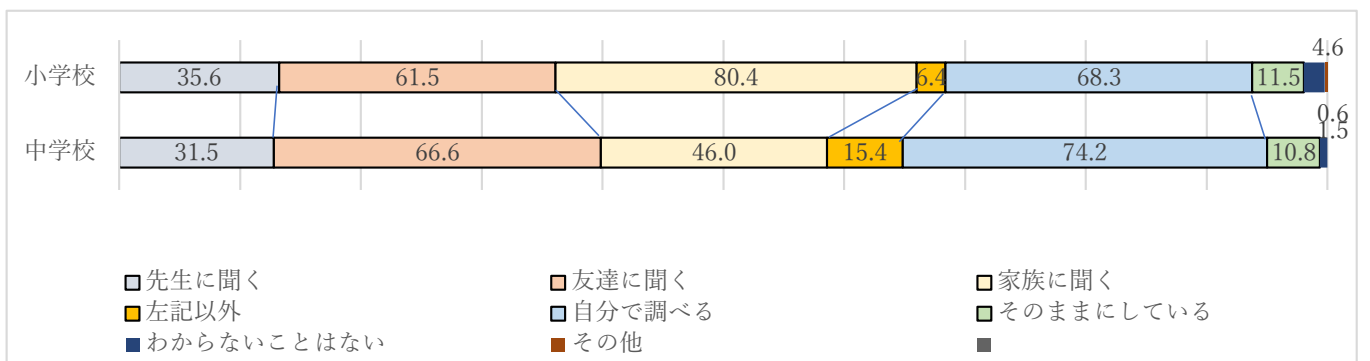
(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)



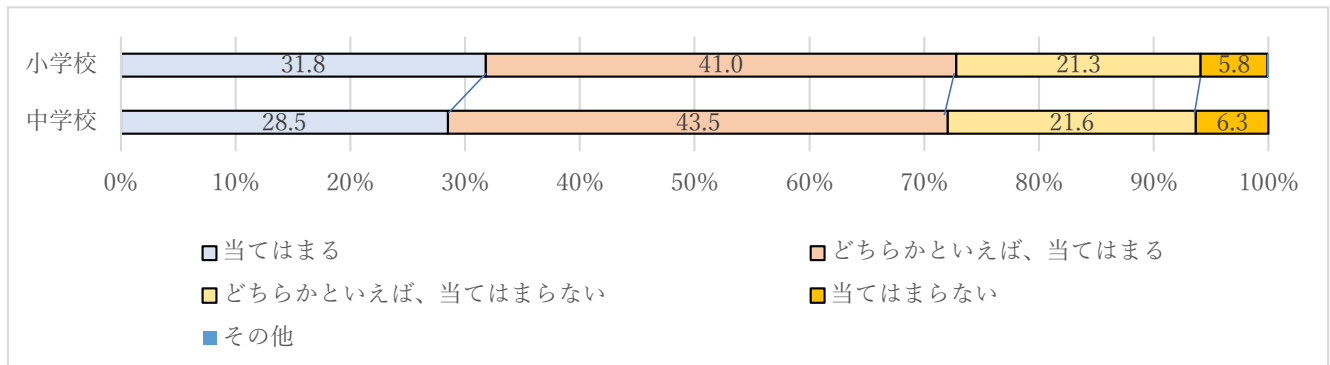
(3) あなたの家には、およそどれくらい本がありますか。



(4) 家で学校からの課題で分からないことがあったとき、どのようにしていますか。（複数選択）



(5) 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。



## 2 読書と学力の関連性

平成21年度文部科学省委託調査研究「学力調査を活用した専門的な課題分析に関する調査研究

C. 読書活動と学力・学習状況の関係に関する調査研究 分析報告書」静岡大学

- (1) 読書好きな児童生徒ほど、教科の学力が高い。P11
- (2) 平日読書時間も教科の学力と一定の関係を示すが、長時間読書が必ずしも教科の学力に結びついていない。図書館利用頻度についても、同様である。P11
- (3) 限られた読書時間の中で読書の質を高めるような指導の必要性が示唆される。P14  
勉強時間の長さにかかわらず、ある程度の読書をした方が教科の学力が高いことが示された。このことは、読書する時間があつたら勉強した方がよいという考え方が、必ずしも正しくないことを示した。P39  
教科の学力の高い読書好きな児童生徒は、平日の時間を計画的に使うことで読書の時間を意識的に生み出していることが推測される。P17
- (4) 教科の学力に対する影響は、地域規模・学校規模が小さいほど、読書活動の影響は大きく、学習活動の影響は小さい。ただし、この影響は中学校では弱まる。P48
- (5) 学校司書等は学校の指導と連携することで、より効果を発揮することが示された。また、学校司書等いる学校図書館では、利用頻度が教科の学力と関連していることが確認された。P39
- (6) 資料を活用する指導を行っている学校の児童生徒は、PISA 型読解力意識が高くなっており、活用や言語活動の充実を図ることで、PISA 型読解力の育成が期待できる。P39

## 3 読書の質を高めるとは

(1) 学校図書館で授業をしよう

① 並行読書から言語活動へ

学年	説明的文章	昔話・詩・物語・文学など
小学校 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車図鑑を作ろう</li> <li>・～を知らせよう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・好きな絵本の表紙を教えて！</li> <li>・昔話を読んで好きなところをお話しよう</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろなお仕事の魅力発見</li> <li>・おもちゃ作りの本と比べて読もう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レオ＝レオニのお話を読んで心に残る言葉を見つけ、カレンダーを作ろう</li> <li>・「ふたり」シリーズを読んで、音読劇をしよう</li> <li>・詩を読んで、音読発表会をしよう</li> </ul>

令和4年度奈良県子ども読書推進フォーラム

		・外国のお話を読んで、紹介しよう
3	・初めて知ったことを知らせよう ・食べ物のお話を教えます	・不思議な出来事が起こるお話を紹介しよう ・戦争について書かれている本を読もう ・ブックトークをしようー世界の民話や昔話編ー ・ことわざや故事成語を調べて、クラスの日めくりカレンダーを作ろう
4	・新聞記事を書こう ・ノンフィクションを読もう ・～について調べ、パンフレットを作ろう	・シリーズを読んで、人物事典を作ろう ・平和を願う作品を読もう ・新美南吉作品の情景描写文集を作ろう
5	・百科事典で調べ、要約して書こう ・動物の謎に迫るポスターを作ろう ・新聞記事を比べて読もう ・統計資料と合わせて読もう	・好きな作家の作品2冊を紹介しよう ・伝記を読んで、自分の生き方について考えよう
6	・写真集を読もう ・日本文化をパンフレットで発信しよう ・メディアについて考えよう	・テーマを決めてブックトークをしよう ・宮澤賢治の作品を読んで、学校図書館に展示コーナーを作ろう
中学校 1	・統計資料を読もう	・ポップを作って紹介しよう ・平和に関する作品を読んで、思いを伝える朗読会をしよう ・「竹取物語」の魅力について語り合おう
2	・美術評論文や美術解説文を読み、美術鑑賞文を書こう	・人物相関図を書いて、作品を紹介しよう ・翻訳作品を読み比べよう
3	・論説文を読み、これからの時代に大切なことを考えよう ・三年間の歩みを振り返ろう	・評価記録を付けながら読んでいこう ・自分を励ますアンソロジーを作ろう ・季節を感じる句集を作ろう ・読書会を開こう

②指導の工夫

i) 主体的な読書へ

- ・読書リストの作成
- ・計画的な読書

ii) 付箋を活用しよう

- ・要点把握
- ・一言感想交流

iii) 個別最適な学びから協働の学びへ

- ・読んだ本や学習成果物、最終の言語活動の交流
- ・推敲段階の交流

iv) 与えられる読書から自分で選ぶ読書へ

- ・ブックリストを活用する。(低学年～)
- ・パスファインダーを活用する。(高学年～)
- ・日本十進分類法を知って探す。(5年)

v) 読書時間の確保

令和4年度奈良県子ども読書推進フォーラム

- ・朝の読書タイム
- ・授業中の10分間読書
- ・学校図書館配当時間における読書

(2)説明的文章を読む

①冒頭部には、何が書かれているのだろうか。比較して読んでみよう。

- i) 小学校 第1学年 上 「うみのかくれんぼ」(出典：光村図書)
- ii) 小学校 第3学年 上 「言葉で遊ぼう」小野恭靖
- iii) 小学校 第3学年 下 「すがたをかえる大豆」国分牧衛
- iv) 中学校 第2学年 「君は『最後の晩餐』を知っているか 布施英利 (出典：光村図書)

4 学校司書との連携

(1)学校司書としての役割を十分果たすためにチャレンジしてみよう。

(2)司書教諭として、仕事内容を見直してみましょう。→学校図書館の評価へつなげよう。

No.	内容	
1	必要な本を探せるように、NDCに沿って本を配架し、オリエンテーションで全校の児童生徒及び職員にNDCのきまりを伝えている。	
2	教科の年間計画に合わせ、司書教諭と相談して新刊を購入している。購入した本は、全て目を通し、内容をおおよそ把握している。	
3	現在進行中または今後の学校図書館を使う授業に合わせた本の紹介コーナーがある。	
4	司書教諭と定期的に打ち合わせの時間を設けている。その記録は、見やすくまとめて、司書教諭、学校司書のどちらかが校長に提出している。	
5	職員室に机があり(兼用可)、先生方と学校図書館活用の打ち合わせをしている。	
6	教職員全ての名前を覚えて、マイカップを職員室に置き、時には雑談もしている。	
7	司書教諭と協力して、保護者向け、職員向け図書館だよりの2種類出している。	
8	学年だより、教科書を見て学校図書館を使う授業を想定し、先生に声をかけている。	
9	学校図書館での授業では、T2として、支援をしている。	
10	本を教室に運んで授業をする場合は、教室の様子を見に行き、支援している。	
11	コンピュータ室と学校図書館を両方使う授業では、コンピュータ室も見に行く。	
12	依頼された資料がない場合は、公共図書館や他の学校から借りてくる。	
13	学校図書館を使う、または教室で本を使う授業の記録をとってまとめている。	
14	学校図書館の活用に関する情報、授業での指導例を収集している。	
15	教育に関すること、新刊など常に新しい情報に関心を持つようにしている。	
16	学校図書館に関する研修に積極的に参加し、他の学校司書と情報交換している。	
17	読み聞かせボランティアが活動している学校では、読む本を把握し、助言している。	
18	図書委員会の児童生徒の名前を覚えて、活動を支援している。	
19	特別な事情のある児童生徒を把握し、できる範囲で支援に協力している。	
20	教育委員会に、学校図書館の活用状況等の成果を報告している。	